

公益財団法人かかみがはら未来文化財団後援名義の使用に関する要綱

(令和7年10月31日決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、公益財団法人かかみがはら未来文化財団(以下「財団」という。)が各種文化事業等に対して後援をする場合の後援名義の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「後援」とは、団体及び個人が主催する事業に対して、金銭的支出等を伴わず、財団が事業の目的に賛同し、奨励の意を表して名義の使用を承認することによって支援することをいう。

(使用できる名義)

第3条 財団が後援をする場合に使用できる名義は、公益財団法人かかみがはら未来文化財団とする。

(承認基準)

第4条 財団が後援する事業は、財団の設立目的に合致し、当該事業を実施することにより、各務原の文化芸術及び教育の振興に寄与すると認められる事業とする。ただし、当該事業が次の各号に該当する場合は、後援しないものとする。

- (1)政治活動又は宗教活動を目的とした事業
- (2)特定の政党その他政治団体、宗教団体又は結社を支持し、又は支援する事業
- (3)特定の思想又は主義主張を浸透させることを目的とした事業
- (4)各務原市暴力団排除条例第2条第1号及び第2号に規定する者が主催、共催、後援等をする事業
- (5)公序良俗に反する事業

(使用に伴う負担義務)

第5条 使用が承認された事業に対し、当財団は費用・物品等の負担義務をしないものとする。

(手続き)

第6条 後援名義の使用承認の申請は、後援名義使用申請書(様式第1号)を財団に提出するものとする。なお、主催者が民間団体の場合は、団体の規約、会則その他これらに類するもの又は団体の活動実績を記載した書類を添付すること。

2 主催者は、申請の内容に変更(軽微なものは除く。)が生じる場合は、速やかに財団に連絡するものとする。

3 理事長は、後援名義の使用を承認するときは、名義使用承認決定通知書(様式第2号)により、申請者に通知するものとする。

4 後援名義使用の承認を受けた主催者は、事業の終了後1カ月以内に、後援名義使用報告書(様式第3号)を財団へ提出するものとする。その際、事業決算書、チラシ・プログラム等の名義を使用した資料等を添付すること。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、理事長が定める。

(附則)

この要綱は、令和7年11月1日から施行する。